迎春 新年あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。

２０２１年は、２０２０年に引き続き、コロナ禍での活動を余儀なくされた一年になりましたが、組合員の皆様には、普段の活動や事業にご理解を賜り心より感謝申し上げます。

一年を通して、活動面では、人と人が対面で触れ合う交流会、事業面では、商品の展示会や出張を制限することになりました。しかし、その一方で、オンラインでの交流やリモートワークが進み、青森浪岡りんごの生産者とコープやまぐちの組合員が７地域同時に約１００名参加する産地交流が開催されるなど、新しいつながりも広がりました。

▲浪岡りんごの生産者さんとのオンライン交流会の様子

今年度は、核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名に取り組み、現在１万筆を越える署名を頂くことができました。また、10月には、山口県エシカル推進パートナー※1の第１号に認定されました。これらはすべて、平和や環境を守る活動など、これまで組合員の皆様が地域とともに取り組みを進められてきた成果であると存じます。これからも、「誰一人取り残さない持続可能な世界と元気な山口県」の実現を皆様と一緒にめざして参ります。

２０２２年の干支は壬寅で、この干支は「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれる」という意味があるようです。Withコロナのくらしの中にあっても、未来に向けて生命力に溢れる事業と活動を力強く推進する年をめざしていきます。

生協は、「命とくらしを守る組織」です。これまでも先人の皆様の礎の上で「命とくらしを守る」活動を積み重ねてきました。これからも一層、組合員組織と職員組織が力を合わせた活動を進め、２０３０ビジョンで掲げる「つながる・創る 共に生きる未来！」に向け、コープファンを広げる取り組みにお力添えをいただければ幸いです。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

※1 山口県で地球温暖化や食品ロスのような消費に関わる社会問題への取り組みとして、エシカル消費に積極的に取り組む事業者を対象にパートナー登録を行い、県内におけるエシカル活動の普及推進をめざす取り組みのこと。

コープやまぐち理事長
山崎 和博

2021年 コープトピックス

1 宇部店リニューアル

リニューアルオープンを機に、レジでの精算を組合員さん自身が行う「セルフレジ」を導入し、コロナ禍での非接触対応とレジ待ち時間の短縮につながりました。また、店内のショーケースや空調には環境に配慮した「ナノイーX」を採用。農産売り場を拡張し、新鮮な地場野菜の取り扱いも開始しました。

2 連携協定

地域包括連携協定を、7月に周南市、11月には柳井市と新たに締結しました。周南市との締結式では、協定内容に基づき、「しゅうなんブランド」として認定された特産品（お酒・グリーンカレー・ポン菓子など）をここと各店で販売する等、地域とのつながりを深めています。

3 新型コロナウイルスへの対策

依然続くコロナ禍への対応として、光触媒除菌スプレー（9月）や、店舗の買い物かごを除菌する装置（10月）の導入を行いました。また、そのような状況にあってもこれまでコープやまぐちが大切にしてきた産地との交流を守ろうと、オンラインでの産地交流会が行われました。

8月　沖縄県恩納村もずく
10月　青森県浪岡りんご
11月　長野県ぶなしめじ薫樹

4 エシカル消費の推進

〝誰かの笑顔につながるお買い物〟としてエシカル消費を推進しました。わが家のいちおし活動でもエシカル消費につながる商品を取り上げたほか、全7店舗での「てまえどり」ポップの掲載（9月）を通じて食品ロス削減を呼びかけています。

10月には山口県が進める「エシカル推進パートナー」の第1号としてコープやまぐちが選ばれました。

2022年に取り組むこと

つながる・創る 共に生きる未来！ に向けて

コープやまぐちでは、「つながる力」で新たな価値を「創る」ことにチャレンジし、共生の社会づくりを進めたいと考えます。２０２２年は、宅配・店舗でのお買い物の際に便利なアプリの配信開始などを行い、より一層組合員さんにとって選びやすい・買いやすい生協をめざします。また、特例子会社を設立し、障がい者雇用を進めていきます。

つながる・創る
共に生きる未来！

地域とのつながり

誰もが住みやすく、笑顔の広がる地域社会づくりには、各地域の行政や他団体との連携が不可欠です。地域とつながった子育て応援の新しい取り組みとして、赤ちゃんが誕生したご家庭に送るプレゼント企画を考案中です。